

八幡東幼稚園 10月の実践

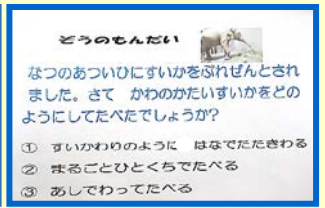
★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力

□ は、幼児教育の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

- 〔ねらい〕 ○ 友達と一緒に到津の森公園で動物を見ながら、ゲームハイキングをすることを楽しむ。
○ 集団の決まりを守り、合図や指示をよく聞き、みんなと一緒に行動する。
- 〔活動〕 ○ 到津の森公園に行き、動物見学をする。



【事前の準備】
・ 各自に動物の写真で見学順路を示したカードを前日に渡し、期待感をもたせる。
・ 三択で11問の「どうぶつくいず」を準備して持って行く。



僕はミカンと思うけど…

私もミカンと思う。おじいちゃんがね「鳥が庭のミカンをつつくよ。」って話していたよ。

T: オウムの好きな果物はなんだろうね。

T: 問題をよく聞いてから、相談してね。

クイズを解きながら、動物見学をする。

サルの6歳って(体は)小さいのかな? 看板を見たら分かるかもね。

何月生まれか、かいてあったね。看板を探して見てみようよ。

<幼児の活動>

- 見学順路カードを確かめながら3人グループで行動する。
- 動物を見て気付いたことを話す。
- 動物クイズの問題を聞き、3つの答えの中から相談して1つの答えを選んで解答する。

動物をよく見る。

- ・ グループで行動するという思いを明確にもち、自分たちで見学順路カードを確かめながら行動していた。
- ・ 動物の特徴的な姿やにおい、鳴き声、体をたたく音、羽音などに興味をもち、気付いたことを次々に発言していた。
- ・ ゲーム形式で見学することによって、動物だけでなく、問題の答えを求めて周りにある木々や看板などもよく見ていた。

★知識及び技能の基礎

- 【豊かな感性と表現】【言葉の伝え合い】
- 【自然との関わり・生命尊重】

解答を決めて答える。

- ・ これまでの体験、周囲の人々や図鑑から得た情報を生かして、知っていること、気付いたこと、考えていることを友達に話したり、同意を求めたりしていた。
- ・ 三択という解答形式だったが、グループで解答の仕方が異なっていた。違うと思った選択肢から除いていったり、各自が正解と思う番号を言って多数決で決めたり、一人一人が自分の考えを話して納得して決めたりするなどの姿が見られた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎

- 【協同性】【言葉の伝え合い】【思考力の芽生え】
- 【数量・図形、文字等への関心・感覚】

<幼児の活動>

- グループで意見がまとまらず、いざこざが起きる。

- ・ グループの中で、自分の意見を押し通そうとして揉めている姿を他のグループの幼児が見ていた。互いに譲らない様子を見て仲裁に入り、解決方法をアドバイスする姿が見られた。

★学びに向かう力、人間性等

- 【自立心】【協同性】
- 【道徳性・規範意識の芽生え】

【保育者の援助活動】

- ・ 問題の内容は、幼児が自分たちの生活と結び付けて考えられるような内容にする。(食べ物、名前等)
- ・ 幼児の発達の実態に応じたグループングを行い、自分の意見や考えを発言しやすい状況をつくる。

私もCちゃんもライオンの舌は、3番のザラザラと思うけど。

喧嘩したら楽しくないよ。何でB君が決めるの。決まらないときは多い方(多数決)にしたらいいよ。

B君は絶対1番のツルツルって言うのよ。

僕、間違っていないよ。絶対ツルツルだから。